

震災からの主な経過(～4月30日)

■青字:市の動き
■赤字:福島第一原発事故の状態

▶3月11日(金)【震災発生初日】



朝6時ごろの薄磯海岸の穏やかな海(Kouichi Seya氏提供)

10:00 避難所127カ所、避難者数1万9,813人(最大)
 10:17 福島第一原発1号機でベントを開始
 11:00 常磐自動車道、磐越自動車道が緊急交通路に指定
 15:00 緊急消防援助隊が市内沿岸部での救助・救命活動を開始
15:36 福島第一原発1号機で水素爆発が発生
 17:39 総理大臣より、福島第二原発の半径10km圏内の避難指示が発令
 18:25 総理大臣より、福島第一原発の半径20km圏内の避難指示が発令
 19:04 福島第一原発1号機、原子炉への海水注入を開始
 ●市長がコメントを発表(落ち着いて表に出ないよう依頼)
 ●高齢者等要援護者の安否確認開始
 ●送水系の基幹管路の復旧が完了し、配水池へ送水を再開
 ●市内21カ所に給水所を設置し、風船式給水槽などによる給水を開始
 ●いわき平競輪場に、支援物資集配センターを開設
 ●災害対策本部に安否情報コーナーを設置
 ●津波被災地区における道路上などの流出がれきの撤去を開始(～4月上旬)
 ●自衛隊、緊急消防援助隊、市消防本部、消防団が共同で、市内沿岸部全域において救助・救命活動を開始
 ●JMATが活動を開始(～5/3)
 ●福島空港に臨時便(伊丹空港線)を設定(～3/31)

14:46 三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震(M 9.0)が発生(本市震度6弱)
 この地震で福島第一原発1～3号機が自動停止
 14:49 気象庁が大津波警報を発表
14:50 市災害対策本部を設置(市消防庁舎内)
 避難所が開設、食料・寝具等調達を開始
14:51 市内沿岸部全域に対し、防災無線で避難指示
 14:52 小名浜で津波第1波(1.0m)を観測
 15:39 小名浜で最大3.3mの津波を観測
15:42 福島第一原発1～3号機で全ての交流電源が喪失
 15:45 市内沿岸部全域に対し、サイレン吹鳴で再避難を指示
 16:30 福島県知事に対し、自衛隊派遣を要請
16:36 福島第一原発1、2号機で非常用炉心冷却装置による注水が不能
 17:55 臨時市長記者会見を開催(全力で震災に対応)
 18:00 市水道局から断水および節水協力のお知らせ
 救急病院、人工透析病院への巡回給水を開始
 19:03 福島第一原発について原子力緊急事態宣言が発令
 21:23 総理大臣より、福島第一原発の半径3km圏内の避難、3km～10km圏内の屋内避難指示が発令
 23:00 陸上自衛隊が到着、災害支援活動を開始
 ●避難所への食料配達を開始(～8/19)
 ●市内のはほぼ全域で約13万戸が断水
 ●非常用地下貯水槽などによる市民への給水を開始
 ●JR常磐線・磐越東線の運転が中止
 ●常磐自動車道、磐越自動車道が通行止め
 ●福島空港行きリムジンバスが通常どおり運行を継続

▶3月12日(土)

04:10 日本赤十字社福島県支部へDMAT派遣を要請
 05:44 総理大臣より、福島第一原発の半径10km圏内の避難指示が発令
 07:45 福島第二原発について原子力緊急事態宣言が発令(12/26解除)
 総理大臣より、福島第二原発の半径3km圏内の避難、3km～10km圏内の屋内避難指示が発令
 08:00 市消防本部、消防団、DMATが共同で、市内沿岸部全域における救助・救命活動を開始

▶3月13日(日)

05:10 福島第一原発3号機で冷却機能が喪失
 08:30 市独自の判断で、久之浜・大久地区住民に自主避難を要請、緊急輸送バス運行にて避難移動を開始(国による屋内避難指示は3/15 11:00発令)
 08:30 自衛隊、警察、緊急消防援助隊、市消防本部、消防団が共同で、市内沿岸部全域での救助・救命活動を開始(～3/14)
 17:58 津波注意報解除に伴い、市内沿岸部全域に対する避難指示を解除
 ●基幹浄水場、市水道局本庁舎などで24時間給水を開始
 ●簡易水道区域のうち田人・遠野全域、川前の一部で給水が可能に
 ●市総合磐城共立病院、福島労災病院などが通水
 ●市休日夜間急病診療所が診療を再開
 ●節車のお願い、ごみ収集休止について市民へ広報
 ●市保健所にて、放射線スクリーニング検査を開始
 ●市総合磐城共立病院医療スタッフが避難所巡回診療を開始(～4/28)
 ●福島空港に臨時便(羽田空港線、中部空港線、新千歳空港線)を設定(羽田～4/10、中部～3/31、新千歳～3/24)

▶3月14日(月)

11:01 福島第一原発3号機で水素爆発が発生
 13:25 福島第一原癁2号機で冷却機能が喪失
 ●市役所窓口業務を一部再開(以後、順次再開)
 ●外国人相談窓口を開設

●避難所ごみ、避難所し尿の定時収集を開始
 ●市公式ホームページに「災害関連メニュー」を追加
 ●被災医療機関からの転院搬送を開始(3/24、25)
 ●福島空港に支援物資が到着、県内各地へ搬送(～5/2)

▶3月15日(火)

04:00 市内で最大放射線量を観測(23.72マイクロシーベルト/時)
06:10 福島第一原癁2号機で衝撃音
06:14 福島第一原癁4号機が爆発により一部損傷
 09:30 市独自の判断で、小川町上小川字戸渡地区、川前町下桶売地区の一部(志田名・荻)に自主避難を要請(国による屋内避難指示は、同日11:00発令)
09:45 市長がメッセージを発表(不要不急の外出を控えるようお願い)
 11:00 総理大臣より、福島第一原癁の半径20～30km圏内の屋内避難指示が発令(小川町、川前町、久之浜町、大久町の一部が対象区域に設定)
 13:17 原癁避難のため、磐越自動車道いわき三和IC・小野IC、常磐自動車道いわき勿来IC・いわき湯本IC・いわき中央ICを開放
 ●要望活動【民主党・自民党関係】(避難先確保、物資確保)
 ●休日救急歯科診療が開始(～4/3)
 ●重症患者の管外医療機関への救急搬送を開始(～3/30)

▶3月16日(水)



人々が消えた午前8時30分ごろのいわき駅前(FMIいわき提供)

05:45 福島第一原癁4号機の建屋4階部分で火災が発生
 08:30 自衛隊、警察、市消防本部、消防団が共同で、市内沿岸部の捜索活動を開始(～4/26)
 10:40 市長がメッセージを発表(①市民の皆様への冷静な行動のお願い、②医薬品提供、③避難所への配送業務、④水道復旧作業協力のお願い)
 ●水道水の放射性物質測定を開始
 ●被災建築物応急危険度判定を開始(～6/5)
 ●国および県と共同で、タンクローリー8台分のガソリンと軽油を市内11カ所の給油所に供給
 ●小名浜石油(株)へ石油の公共放出を要請
 ●市災害救援ボランティアセンター開設
 ●小名浜港藤原ふ頭、緊急物資受入岸壁の供用を開始

▶3月17日(木)

08:30 常磐西郷町の忠多団地に避難勧告

09:30 市長がコメントを発表(政府調達ガソリンの供給について)
 09:48 福島第一原癁3号機で陸自ヘリにより使用済燃料プールへの散水(約30t)を開始(～10:01)
 ●市義援金の受け入れを開始
 ●草野小学校で自衛隊入浴サービスを開始(～3/19)

▶3月18日(金)

09:00 市長がメッセージを発表(安定ヨウ素剤の配布について)→妊婦・40歳未満の方に、安定ヨウ素剤の配布を開始
 17:48 福島第一原癁事故について、原子力安全・保安院がINES(国際原子力・放射線事象評価尺度)の暫定評価結果を1号機、2号機および3号機はレベル5、4号機はレベル3と発表(4/12に1号機、2号機および3号機についてレベル7に引き上げ)
 ●市立幼稚園、小学校卒業式を中止
 ●高速バスいわき～東京線の運行が再開
 ●小名浜港に震災後、初めて緊急物資運搬船が入港

▶3月19日(土)

08:00 市長がメッセージを発表(市内災害弱者の支援)
 18:30 市長がコメントを発表(ガソリンの確保・供給)

▶3月20日(日)

●福島県と小名浜石油(株)の後押しで市内給油所や病院にガソリンと灯油を供給(～3/26)
 ●知的障がい者33人を神奈川県へ船で移送(～4/11)
 ●障がい者福祉施設等への支援物資配布を開始(～4/4)
 ●老人福祉施設などへの支援物資配布を開始(～4/6)
 ●いわき市医師会が臨時診療所を開設(～3/21)

▶3月21日(月)

13:30 市長がメッセージを発表(市民への食料等の配布)
 →市民への食料等の配布を開始(～3/28・計6回)
 ●常磐自動車道いわき中央IC～水戸ICの一般車両通行止めが解除

▶3月22日(火)

●市総合磐城共立病院が外来通常診療を再開
 ●ごみ収集を一部再開(燃やすごみ・週1回)
 ●市内路線バスの6路線が日祝日ダイヤでの運行を再開
 ●大手コンビニの一部が再開(以後順次再開)

▶3月23日(水)

07:12 福島県浜通りを震源とするM6.0の地震が発生(本市震度5強)
 07:36 福島県浜通りを震源とするM5.8の地震が発生(本市震度5強)
 17:30 水道水測定の結果、放射性ヨウ素が103ベクレル

/kg検出され、乳児の水道水摂取を制限(～3/31解除)→乳児に対するペットボトル水の配布を開始(～3/31)
18:55 福島県浜通りを震源とするM4.7の地震が発生(本市震度5強)
21:00 市水道局が「給水復旧計画」を策定
●市内の水道復旧率が5割に
●避難所買物バスの運行を開始(～3/26)
●港区スポーツセンターにおいて支援物資受け付けを開始(～3/31)

▶3月24日(木)
●津波被災家屋等への消毒資材配布を開始(～7/22)
●磐越自動車道いわきJCT～津川ICの一般車両通行止めが解除

▶3月25日(金)
11:46 内閣官房長官記者会見にて、福島第一原発の半径20km～30km圏内の住民の自主避難を促す
●保育所等への飲料水等の配布を開始(～4/7)
●このころから郵便の集配再開


上空からの現場視察前に自衛隊員から説明を受ける市長

▶3月26日(土)
11:00 市長がメッセージを発表「震災から2週間を経過して」
●要望活動【政府、民主党、自民党関係】(市民生活の安寧(生活支援、生活確保、風評被害の解消))

▶3月28日(月)
●り災証明の現地調査を開始
●いわき市議会東北地方太平洋沖地震対策本部を設置
●臨時市長記者会見を開催(総合窓口の設置、住宅の一時提供)
●要望活動【政府・民主党・自民党関係】(農林水産物の風評被害の解消)
●FMいわきに臨時災害放送局を設置、通常出力の20Wを100Wへ増幅(～5/27)
●市内38公立保育所のうち、18保育所で業務を再開
●このころから市内スーパー、コンビニが本格再開

▶3月29日(火)
●総合窓口を市文化センターに開設
●臨時市長記者会見を開催(ごみ収集全面再開、家庭から出た災害ごみの受け入れなど)
●市被災救助費等、各種給付金の申請受け付けを開始
●一時提供住宅入居者の一次募集を開始(～4/8)
●小名浜港に震災後、初めて民間の大型石油タンカーが入港



▶3月30日(水)
●家庭から出た災害ごみの受け入れを開始(市内3カ所)
●中央台公民館で自衛隊入浴サービスが開始(～5/30)

▶3月31日(木)
●避難所における栄養相談を開始

▶4月1日(金)
17:31 「東日本大震災」の呼称が閣議で決定
●避難所における医療相談を開始
●要望活動【政府、民主党、自民党、県知事関係】(福島第一原発災害の早期収束、風評被害の解消ほか)
●常磐自動車道いわき中央IC～いわき四倉ICの一般車両通行止めが解除

▶4月3日(日)
●避難所入浴バスの運行を開始(～5/28)

▶4月4日(月)
●市災害対策本部を市文化センターに移転
●生活福祉資金(緊急小口資金)の特例貸付制度受け付けを開始
●ごみ収集を全面再開
●り災証明書の発行を開始
●市災害救援ボランティアセンターの窓口を市社会福祉協議会に一本化

▶4月5日(火)
●臨時市長記者会見を開催(津波により損壊した家屋の撤去など)

▶4月6日(水)
●市立小中学校入学式を実施(被災地区などの小中学校では市文化センターで入学を祝う会を実施)
●要望活動【県知事】(水産業への対応)
●要望活動【原子力安全・保安院】(放射性物質の海洋放出)
●敷地内流出がれきの撤去を開始(～7月末)
●市内路線バスが一部路線を除き通常運行を再開

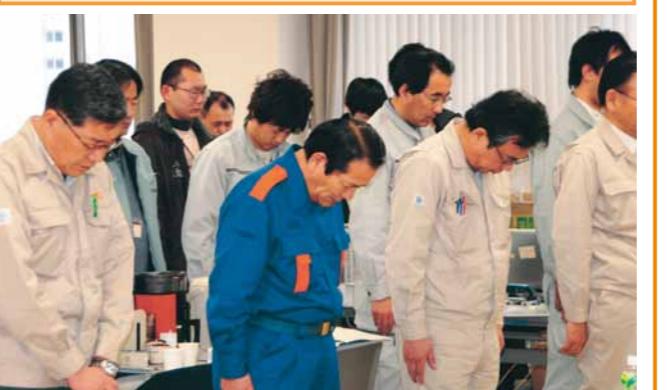
▶4月7日(木)
23:32 宮城県沖を震源とするM7.2の地震が発生(本市震度4)
23:34 気象庁が津波注意報を発表(翌日00:55解除)
●市立幼稚園入園式を実施

▶4月8日(金)
●臨時市長記者会見を開催(当面の緊急雇用対策)

▶4月9日(土)
●「がんばっぺ！いわき オールいわきキャラバン」を市内5カ所で開催(～4/10)
●要望活動【政府、民主党、自民党関係】(水産業への対応)
●NPOが中心となり、勿来地区災害ボランティアセンターを設立(～5/20)

▶4月10日(日)
●市内水道がほぼ復旧(津波や地滑りの被災地区を除く)
●保健師などによる津波被害地区の訪問活動を開始(～6/7)

▶4月11日(月)【東日本大震災発生から1カ月】



災害対策本部で黙祷
14:46 サイレン吹鳴とともに市内で黙祷
17:16 福島県浜通りを震源とするM7.0の地震が発生(本市震度6弱)
17:18 気象庁が津波注意報を発表(同日18:05解除)
18:19 田人町石住字貝屋地内で土砂崩れが発生、家屋が倒壊し、救助・救命活動を開始
19:00 市長がメッセージを発表(本市が「緊急時避難準備区域」の対象とはならないことについて)

19:30 市水道局から余震による断水および節水協力のお知らせ
●同日の余震により市内約10万戸が再び断水
●住宅の応急修理制度の申請受け付けを開始
●JR常磐線普通列車いわき駅～高萩駅で運転再開するも同日の余震により運転見合わせに
●同日の余震により常磐自動車道、磐越自動車道が通行止め

▶4月12日(火)
14:07 福島県中通りを震源とするM6.4の地震が発生(本市震度6弱)
●前日の余震により、市立小中学校休校(～4/17)
●「がんばっぺ！いわき オール日本キャラバン(第1弾)」を東京都港区で開催(～4/13)
●常磐自動車道いわき湯本IC～いわき四倉IC、磐越自動車道いわきJCT～小野ICの一般車両通行止め解除

▶4月13日(水)
08:00 田人町石住字才鉢地内の土砂崩れ現場において、救助・救命活動を開始(～4/16)
●余震により運転を見合わせていたJR常磐線普通列車の運転が再開
●小名浜港に震災後、初めて内航貨物船が入港

▶4月14日(木)
●第1回東日本大震災いわき市義援金配分委員会を開催
●臨時市長記者会見を開催(一時提供住宅提供開始、義援金の配分)
●要望活動【県知事】(福島第一原発災害の早期収束ほか)
●常磐自動車道いわき勿来IC～いわき湯本ICの一般車両通行止めが解除



市長が田人町の被災現場を視察

▶4月15日(金)
14:00 田人地区(貝屋・神山・才鉢・堀越)に避難指示(4/16 18:00解除)
●市義援金の申請受け付けを開始
●JR磐越東線いわき駅～小野新町駅の通常運転が再開

▶4月16日(土)
●一時提供住宅(雇用促進住宅・民間借上住宅)提供を開始